

英語アカデミックプレゼンテーションを成功させる技術 — 研究を基盤とした実践的手法 —



講師 島村東世子

株式会社イー・グローブ 代取締役・大阪大学大学院工学研究科 非常勤講師

国立研究開発法人や企業での英語プレゼンテーション指導や講演多数。近著に「研究発表ですぐに使える理系の英語プレゼンテーション」（日刊工業新聞社）、「理系研究者からの知見に基づく科学技術英語プレゼンテーション指導法」（大阪大学出版会）など。

自身の研究成果が認知を得るために、国内・外において、研究者は英語でコミュニケーションを行うことが不可欠となっている。しかし、このような状況において、英語が母語でないnon-native speaker が、言語面、および、文化的な側面から不利な立場に置かれることは否めない。

そこで、本セミナーでは、研究に基づいた「non-native speakerが英語での研究発表を成功させる実践的手法」を紹介し、聴衆を惹きつける英語プレゼンテーションを行うための具体的な方策を、オーラルプレゼンテーションから質疑応答まで体系的に提示する。日本人の英語での発表で見受けられがちな問題点を改善し、発表内容を英語で効果的に伝えるために、何をすべきか、何をしてはいけないか、について理解を深める。

（一部、演習も含む）

日時・場所

令和3年（2021年）3月19日（金）・13:00 - 16:00・於「Zoom」

下記のフォームより申し込んだ方にMeeting IDとPasswordをお知らせします。

<https://forms.gle/aKL3BcNjS3v4gcZT9>

参加者・参加費用

大阪大学に在籍する学部・大学院生、教職員対象（申込み者多数の場合、先着70名まで）

参加費用は無料です。

本FD（セミナー）は、大阪大学の「新任教員研修プログラム（教育能力開発分野）」として申請中です（受講時間3.0時間相当）。

連絡先

大阪大学マルチリンガル教育センター事務局（cme-office@lang.osaka-u.ac.jp）

プログラム概要

1. 英語アカデミックプレゼンテーションを成功させるために

- ・ 良い英語アカデミックプレゼンテーションとは？
- ・ 7つの重要要素と16のサブカテゴリ
- ・ 評価されるポイントは？

2. 英語アカデミックプレゼンテーションの構成

- ・ 英語アカデミックプレゼンテーションの構成と流れ
- ・ 聴衆の専門性を考慮した構成配分
- ・ 発表を成功させるイントロダクション

3. 英語アカデミックプレゼンテーションの英語表現のポイント

- ・ Open styleの英語プレゼンテーション
- ・ 論文とプレゼンテーションの文体の違い
- ・ Spoken Englishの特徴
- ・ 英語アカデミックプレゼンテーションで役立つ英語表現
- ・ シグナルデバイス、強調、表やグラフの説明、つなぎの英語表現

4. 効果的なスライド

- ・ 良い例と悪い例
- ・ スライドの操作と問題点
- ・ フレーズ化のコツ
- ・ スライドの活用方法
- ・ プレゼンテーション時間とスライドの配分

5. 音声・発音のポイント

- ・ 音声面での問題点を改善する
- ・ 発音を間違いやすい単語
- ・ 聞き手にわかりやすく伝えるテクニック
- ・ イントネーション、リズム、ポーズ、スピード、強調
- ・ リハーサル、事前練習のポイント

6. 良い印象を与える態度

- ・ 印象を左右する態度
- ・ 良い例と悪い例
- ・ 対面、オンラインでの態度スキルの重要性
- ・ 視線、表情、ボディランゲージ
- ・ 自信を感じさせる態度

7. 質疑応答対策

- ・ 質問応答を円滑に進めるために
- ・ 英語での質問表現に慣れる
- ・ 英語での論理展開に基づく回答
- ・ 質問が理解できない時の対応法
- ・ 質疑応答で役立つ英語表現・フレーズ

